

とある地方都市に住む浜岸愛香（はまぎしあい）は、結婚したばかりの二十八歳の若奥様。

子供の頃から整った容姿、大きな胸、そして気の強さで色んなところで有名だった愛香は、主にそれらが原因となってよく揉め事を起こしてきた。口論で収まる時もあったが、相手が愛香と同年代の女性であった場合は、ほとんど決まって取っ組み合い、殴り合いの喧嘩に発展した。しかし体格や運動神経などの喧嘩の素質に恵まれていた愛香は、そのほぼ全ての喧嘩に勝利してきた。

その喧嘩の強さが広まっていき、中学生になる頃には愛香は周りの同級生たちから畏怖される存在になりつつあった。教師もまた、愛香のことをよく揉め事を起こす問題児として見ていた。

しかし実際のところは、愛香は不良でもなければ問題児でもない。正義感が強く、曲がったことが嫌いなだけなのだ。誰かとトラブルになった際も、愛香が悪いことをしたわけではなく、むしろ誰かの悪事を指摘

した側なのがほとんどだった。何を言われても言い返す気の強さや喧嘩の強さのイメージが先行して問題児だと思われがちな愛香だが、実際は真面目で良心を持つ女であった。事実、愛香を避ける生徒も多いが、それと同じくらい愛香の友達も多かった。

その気の強さ、喧嘩の強さは愛香が高校、大学に進学してからも変わることはなく、三日に一回の頻度で愛香が誰かと揉め、喧嘩になった場合はそれに勝利してきた。

今の夫と結婚するのも、愛香にとっては決して容易な道ではなかった。何せ愛香の夫は容姿端麗のイケメン。愛香と交際していた時からその仲を引き裂こうとする女は多く、その度に愛香はその女たちと喧嘩をして勝利し、彼女の座を守り続けてきたのだった。

そして幾度の死闘を得て彼女の座を守り抜いた愛香は、二人が二十七歳の年について、入籍を果たした。そして結婚から一年が経ったある日、夫の転勤を機に愛香たちはこの地方都市に引っ越してきたのだった。

この街で、愛香は誰とどんなトラブルを起こすことになるのか。

それは神のみぞ知ることであつた。